

学校施設長寿命化改修事業の取組について

1 背景・考え方

平成30年12月、国では、近年の災害から得られた貴重な教訓や社会情勢の変化等を踏まえて、国土強靱化計画を見直し、国と地方公共団体、官と民が連携し、強靱な国づくりを着実かつ強力に進めていくこととしており、本市においても、学校施設は、将来を担う児童生徒の学習・生活の場であり、災害時には地域住民の避難所としても活用される極めて重要な施設であることから、国土強靱化計画の見直しの趣旨を踏まえて、老朽化した校舎棟の改修を行い、長寿命化を図ることとします。

なお、国の法改正による合併特例債の発行可能期間の再延長を受け、新市まちづくり計画の計画期間の再延長を行い、同事業債の令和7年度までの活用が可能となりましたが、限られた発行可能残額については、市議会や市長定例記者会見において、「子ども・子育て」、「教育」、「消防」、「社会基盤」などの分野に重点を置いて活用していくという方針が示されたことを踏まえ、校舎棟の改修に当たっては、同事業債を財源として活用できることとなりました。

この合併特例債と国土強靱化対策による国庫財源を合わせることで、老朽化した校舎棟の改修が可能となったことから、校舎の機能維持を図ることを優先して、外壁塗装、屋上防水を行うとともにガラス飛散防止対策及びバリアフリー化等を目的とした、「第2期学校施設長寿命化計画（個別施設計画）」を策定し、長寿命化に向けた改修工事を進めます。

2 改修内容

校舎の耐久性を高めるための外装改修（外壁塗装、屋上防水）、校舎内の天井と壁の塗替え、震災時の児童生徒の安全対策としてガラス飛散防止対策、バリアフリーへの対応、更に社会のニーズに応じた機能付加として、トイレの洋式化を進めます。

ア 外壁塗装、屋上防水、ガラス飛散防止対策、エレベーター及び多目的トイレ設置工事、校舎内のトイレ洋式便器への取替を実施します。

イ 校舎内（教室、廊下）の天井と壁の塗替えを実施します。

3 令和2年度当初予算の概要

建築後40年以上経過し、劣化状況の調査に基づき、劣化が進んでいる校舎を選定した結果、安濃小学校、修成小学校及び朝陽中学校の普通教室が含まれる校舎棟の実施設計を行います。